

公表：令和5年3月23日

事業所名：江戸川区篠崎児童発達支援センター

		チェック項目	はい	いいえ	無効	合計	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	2	0	10	・支度度に寄っている。スペースに合う場合とそうではないと感じることもある。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	6	0	10	・少ない。 ・管理者が療育担当と兼任になっており、勤務時間の超過、本来の業務の管理部分が甘くなっている。 ・子どもの人数に対して職員が多いと思うときがある。本当に必要なか検討する必要がある。 ・おおむね適切だと思いますが、手厚いと感じることもあります。手厚いと補助が多くなりがちです。 ・クラスによると考えている
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	3	0	10	・パーティーに頼りすぎのような…。 ・体の大きいお子様のおむつ替え台がやや不安定に感じます。 ・肢体不自由児へのケアは不足している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	0	0	10	・毎回、クラスの前に床を拭くなどの配慮をしています。 ・感染予防に努めている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	1	0	10	・お子さんの課題に対して都度職員で情報を共有し、話し合うよう心がけています。それを紙面でもしっかり残す必要があると感じています。 ・クラス内での共有→幹部への報告はできている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	1	0	10	・評価表はこればかりですが、保護者への声掛けは各自行っており、意向をさげているように思います。 ・評価表に対する改善等はわからないが、日々保護者様からの意見に耳をかためて改善できるように心がけている。 ・ご意向を伺う機会が少ない。 ・会報はとてもわかりやすい、みやすい。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	3	1	10	・わからない。 ・今回が初めてなので、今後行っていく必要があります。 ・わからない。 ・わからない。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	5	3	10	・今後の課題では？ ・わからない。 ・わからない。 ・わからない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	3	0	10	・少ない。 ・研修の機会は作っていただいているものの、1つ1つが単発で身に付きづらいのではないかと感じています。 ・数回研修の機会があった。研修内容が一部の職員にしか伝わっておらず、十分とはいえない。研修の頻度も少ない。 ・ABAの研修を実施して下さっている。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	10	0	0	10	・できる限り、ニーズ、現状、解決策を伝えている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2	1	10	・わからない。 ・実施された検査などは参考にしていますが、日々の中では標準化されたものを用いて考えることが難しくあります。他職種で共有できる方法を考える必要があるかもしれません。 ・標準化されているのかどうか分からない。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	1	0	10	・わからない。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	0	10	・毎回支援計画に対する記録をとることで内容にも反映しやすくなっていると思います。 ・クラスでのプログラム立案児に必ず目標として確認しながらすすめている。

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず担任全員でその日のプログラムを確認する。 ・クラスで日々MTGを必ず実施している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	1	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しが持てるよう一部固定化している。 ・固定化している理由、ねらいをもって行っている。変化はスモールステップで入れている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9	1	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の先生にお声掛けして様子をきくようにはしてい。ますが、ケース会議をもう少ししっかりできたらと思うことがあります。 ・個別活動の時間の保障が少ない。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	2	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・必ずではない（前日までに決める）。 ・前後のクラスのスケジュールで時間が取れないことが多い。最低限の内容を口頭確認や片付けながらの振り返りはできている。 ・必ず行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	10	0	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・細かく予測して立案し、準備する。クラス終了後、どうだったか反省・振り返りをして次週のプログラム立案につなげる。 ・後日話し合うこともある。 ・必ず行っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10	0	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず行っている。
関係機関や保護者との連携	20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・1日、1週間、月ごとに行っている。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	2	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。 ・声を掛けてできる限り参加できる職員で行っている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	3	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。 ・訪問支援の対象児以外は他機関と連携をとることは少ないです。 ・わからない。
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	3	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。 ・保護者を通じてお話を伺うことはありますが、直接やりとりすることはありません。 ・知識が圧倒的に不足している。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6	4	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。 ・薬の調整などでご様子が大きく変わるお子さんもいらっしゃるため、連携がとれるとより良いように思います。 ・知識が圧倒的に不足している。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	0	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が就学就園のできる限り困らないように支援を行っていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	9	1	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・機会が十分ではない。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	6	1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。 ・自分で見つけた研修へは参加している。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	8	0	10	
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	8	1	10	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	0	0	10		

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	7	3	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアトシがあるからこそ兄弟児の同席が問題となっている。 ・来年度から行う予定。 ・家庭支援は療育では必須であると考え。ペアレントトレーニングだけではなく各家庭に対して実施している。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	2	1	10	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	10	0	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・面談を実施し、1度ではなく、必要に応じて対応し、計画、目標を保護者と作成している。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・同伴日や夕方クラスでは必ず子の様子、保護者の状態を伺うようにしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	9	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会が頻度高く良さそう。 ・コロナにより自粛している？ ・単独通所も多く、保護者同士の関わりが減っているため、関わる機会を作る必要性を感じています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	0	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ早く、不安を共有→問題への対策を一緒に考えている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10	0	0	10	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	1	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・十分注意はしているが、名前が見えたまま教室を出してしまうことがある。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・"聴くこと"に対して慎重に行っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	8	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放に限られている。 ・コロナのため自粛している。 ・わからない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9	1	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを保護者に十分に周知できていないように思います。 ・マニュアルはあるが、訓練が不足していると考え。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9	1	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・不足していると考えている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	10	0	0	10	<ul style="list-style-type: none"> ・発作のあるお子さんに関しては細めにご様子を伺い、把握するようにつとめています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	0	0	10	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	2	0	10	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	3	1	10	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	2	0	10	